

## ⑪ 公開特許公報 (A)

平4-22359

⑫ Int.Cl.<sup>5</sup>A 61 F 13/54  
13/15

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成4年(1992)1月27日

8118-3B A 41 B 13/02  
8118-3B  
8118-3BF  
E  
G

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

## ⑭ 発明の名称 使い捨ておむつ

⑮ 特 願 平2-127670

⑯ 出 願 平2(1990)5月16日

⑰ 発明者 和田 隆男 大阪府摂津市南別府町15番21号 株式会社瑞光内

⑱ 出願人 株式会社 瑞光 大阪府摂津市南別府町15番21号

⑲ 代理人 弁理士 奥村 文雄

## 概 要

## 1. 発明の名称

使い捨ておむつ

## 2. 特許請求の範囲

上面側の透水性のトップシートと下面側の防水性のバックシートとの間に吸収マットを包み込んで構成される使い捨ておむつにおいて、

防水性のバックシートをおむつの背面領域および前面領域においては吸収マットの端縁で折曲げて吸収マットの上下端縁部分を防水性のバックシートでU状に包み込むとともに、

防水性のバックシートに代えて、通気性のある第3シートで、おむつの背面領域および前面領域を構成したことを特徴とする使い捨ておむつ。

## 3. 発明の詳細な説明

## ○ 産業上の利用分野

本発明は、使い捨ておむつ(紙おむつ)に関するものである。より詳しくは、上面側の透水性のトップシートと、下面側の防水性のバックシートとの間に吸収マットを包み込んで構成される、使

い捨ておむつに関するものである。

## ○ 従来技術

公知の使い捨ておむつにおいて、防水性のバックシートは、吸収パットに吸収された体液の漏出を防ぐべくおむつの背面側および前面側へ延長されている。従って、おむつの背面領域および前面領域には、防水性のバックシートが存在する。

## ○ 発明が解決すべき課題

上記の従来技術においては、おむつの背面領域および前面領域に防水性のバックシートが存在するため、着用時に回り部分の通気性が悪い問題点がある。

## ○ 課題を解決するための手段

本発明は、防水性のバックシートをおむつの背面領域および前面領域においては吸収マットの端縁で折曲げて吸収マットの上下端縁部分を防水性のバックシートでU状に包み込むとともに、おむつの背面領域および前面領域では従来の防水性のバックシートに代えて通気性のある第3シートで構成する。

## ○実施例

以下図面に示す実施例にもとづいて説明する。防水性のバックシート（P・Eシート）3と、透水性のトップシート（不織布）1との間に、吸収マット2を介在することは、公知の使い捨ておむつと同様であるが、本発明の実施にあたり、バックシート3は、背面領域部分Pおよび前面領域部分Q（バックシートの上方側および下方側）においては、吸収マット2の上下端縁で折曲げて吸収マットの上下端縁部分を防水性のバックシートでU状に包み込むものである。

第3図を参照して、実施例においては、両側部分においてもバックシート3を折曲げて吸収マット2の両側端部をバックシート3でU状に包み込み、吸収マット2の全周縁（左右両側および上下の四辺端縁）をバックシート3でU状に包み込み、本発明の効果を高めるものであるが、上下両端のみを包み込み両側部は従来と同様にトップシートとバックシートとを接着しても、本発明の目的を達成できるものである。

着用時には、吸収マット2に浸透した体液は、防水性のバックシート3のU状折曲げ部分により、吸収マット2の上下両端よりの背面領域Pおよび前面領域Qへの漏出が阻止される。

背面領域Pおよび前面領域Qには従来の防水性のバックシートに代えて透気性のある第3シートを使用しているので、着用者周囲の透気性は良好である。

なお、上述の実施例においては、第3シート4は、前面領域側および背面領域側のみとしたので、吸収マット2、トップシート1、バックシート3より構成されるところの、おむつ本体を製作したのち、帯状に供給された上下一対の第3シートにおむつ本体を直交方向に供給し、そののち、第3シートを二層状態に折り曲げることで、製品の完成することができて、製造ラインを簡素化し製品コストの低減をはかることができる。また、おむつ本体は台形形状であるので、交互に逆配置で素材シートより切断して材料取りができる、素材シートを効率的に利用して製品材料費を低減できる等

つぎに、透気性のある素材のシート（例えば、不織布、多孔の貫通小孔を形成したP・Eシート等）の第3シート4を二折して二層状態とし背面領域部分Pおよび前面領域部分Qに配置し、その端部で、吸収マット2の端縁部分をU状に包み込んでいるバックシート3の端部を、更に包み込む（第2図参照）。

また、第3シート4には、背面領域に位置して接着片テープ5を取付ける。

トップシート1の両側部に二層部分13を形成し、該二層部分13に糸ゴム7を挿入し糸ゴム7を伸張状態でトップシート1に接着する。糸ゴム7の弾性縮小により二層部分13を起立させて背面直立壁Tを形成する。8は、側部弾性伸縮部を形成するための糸ゴムである。

上方（背面側）の第3シート4の二層部分11に糸ゴム6を伸張状態で挿入固定して背面領域弹性部PAを形成する。同様に下方（前面側）の第3シート4の二層部分12に糸ゴム8を伸張状態で挿入固定して前面領域弹性部QAを形成する。

の効果があつて好都合であるが、バックシートの外側にも第3シートを設けて前面領域側と背面領域との一対の第3シートをバックシート側で連続させても本発明の目的を達成することができる。

## ○発明の効果

本発明、吸収マットの上下端縁部分を防水性のバックシートでU状に包み込むとともに、従来の防水性のバックシートに代えて透気性のあるシートでおむつの背面領域および前面領域を構成したから、吸収マットよりの体液の漏出を防ぎ、且つ周囲部の透気性を確保して、着用時の快適性を高めることができる。

## 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明を実施した使い捨ておむつを裏面状態で示す平面図、第2図は第1図S1-S1線による断面図、第3図は第1図S2-S2線による断面図である。

1 …… トップシート

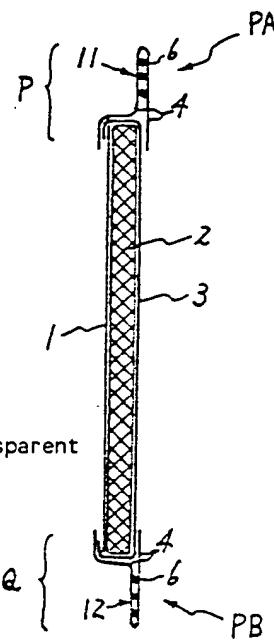
2 …… 吸収マット

3 … … バックシート

4 … … 第3シート

第2図

出願人 株式会社 瑞光  
 代理人 井理士 奥村文雄



Throwaway napkin for children and patients - having water-transparent top sheet and waterproofed back sheet

Patent Assignee: (ZUIK-) ZUIKO KK

Number of Patents: 001

Patent Family:

CC Number	Kind	Date	Week
JP 4022359	A	920127	9210 (Basic)

Priority Data (CC No Date): JP 90127670 (900516)

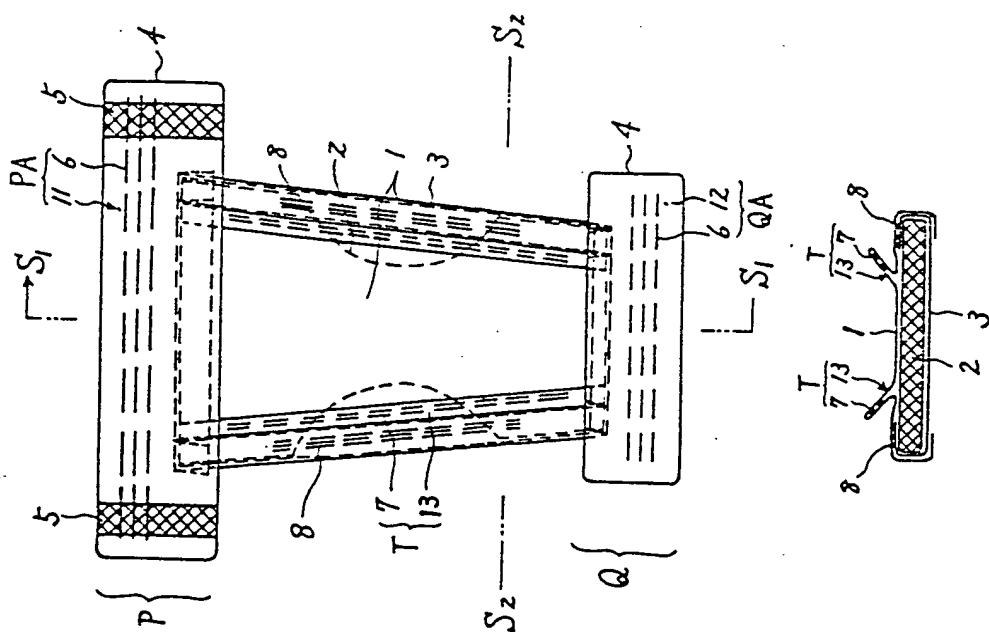
Abstract (Basic): JP 4022359

Throwaway napkin comprises an absorption mat between the top and back sheets. The back sheet is folded at the marginal edge of the mat so as to wrap the end edges of the mat.

USE - For children and patients. @ (3pp Dwg.No.0/3)@

Int Pat Class: A61F-013/54

第1図



第3図